

電動ろくろを使った陶芸教室を 開催しました！

今回新しい企画として電動ろくろをつかったの作品作りを行いました。開催日は、1月21日(土)。1日目は午前の部と午後の部の計2回にわけて実施しました。

この電動ろくろを使った陶芸作品作りは、以前より行っている手ひねり成形の手回しろくろが電動にかわるだけで、成形と仕上げの工程は全くかわることがありません。したがって、開催日も1日目と2日目の2日間で、1工程という日程になっています。

第1日目は、成形する日です。

粘土は焼くと収縮するので想像している大きさより約2cm程大きく作ります。これも、手ひねり陶芸と全く同じで参加者の方々は思い思いの器の大きさをイメージしてから器作りに入っておられました。

まず、最初に「土殺し」という整形前に行う重要な作業に取りかかります。これは、粘土の質を均一にして粘土を中心に整える下準備をです。ろくろの上においた粘土の塊を両手で挟んで上に伸ばしてその後下に縮めます。これを何回か繰り返すのですが、なかなか電動ろくろの操作もままならず、粘土を均一にするために視線が粘土にとび、ろくろがうまく回らず・・・と苦勞しましたが、だんだん慣れてうまく作業が進みなんとか第1段階がクリアとなりました。その後、ろくろを回し、まわっている向きに指を使って粘土を挟み上に向かって伸ばします。少しでも力が余分に入ると形がいびつになりやり直し。力の加減が難しそうですが、皆さん指を上手に使い丁寧に作業をされていました。しかし、結構苦勞はしました。続いて形を整えるためにコテ、棒コテ、針、弓などを使って粘土を切りながら高さをそろえました。高さがそろえば、なめし革で切り口を整え、泥水のたまりを除いて針金で台座から切り取り1日目の成形の工程が終了しました。

第1日目は、はじめて陶芸に参加された方もおられましたがと

でもそうとは思えないほど手慣れた手つきで粘土を練り上げ形を作っておられ、その様子を感じて眺めていました。電動ろくろの動きにも次第に手慣れた様子でテキパキと作業をこなされ、また一つ一つの工程も丁寧にそして美しくこなされていたのがとても印象的でした。

2日目は、2月18日(土)に開催いたします。また、その様子をレポートしたいと思います。

午前の部の様子



午後の部の様子

